

ifia JAPAN / HFE JAPANは食品開発者を中心に来場者と出展社が活発な技術相談・商談を行う「ビジネスのための展示会」です。

[お問い合わせ](#) [サイトマップ](#)

[ENGLISH](#)

ifia JAPAN 2012 第17回 国際食品素材/添加物展・会議

HFE JAPAN 2012 第10回 ヘルスフードエキスポ

2012年 5月
23 [水] **24** [木] **25** [金]
 東京ビッグサイト 西1・2ホール&
 アトリウム/会議棟 10:00-17:00

ifia/HFE JAPANとは	出展のご案内	来場のご案内	前回の実績
----------------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------

主催者企画セミナー・出展社プロモーション

[ホーム](#) > [来場のご案内](#) > [主催者企画セミナー・出展社プロモーション](#)

▼ 主催者企画セミナー ▼

有料セミナー	無料セミナー	出展社 プレゼンテーション
------------------------	------------------------	-----------------------------------

- [▶ 来場者事前登録](#)
- [▶ 出展社情報](#)
- [▶ 出展社検索](#)
- [▶ 我が社の製品力](#)
- [▶ 主催者企画セミナー・出展社プロモーション](#)

会議棟で 開催されるセミナー

- 有料セミナー
- プライベートセミナー

展示会場内で開催されるセミナー



会議棟セミナー <有料> ▼ 5月23日 ▼ 5月24日 ▼ 5月25日

有料セミナーの受講をご希望の方は、こちらからFAX申し込み用紙をダウンロードして必要事項をご記入の上、お送りください。

- [▶ オンラインお申し込みフォームはこちら](#)
- [▶ FAX申し込み用紙ダウンロード](#)

[Aコース] 5月23日 ▶ 食の安全・科学フォーラム 第11回セミナー	[Bコース] 5月23日 ▶ 口腔ケアセミナー 歯科発!街の健康ステーション	[Cコース] 5月23日 ▶ スポーツニュートリションセミナー
[Eコース] 5月23日 ▶ JSoFFミニシンポ	[Fコース] 5月24日 ▶ 国際シンポジウム	[Gコース] 5月24日 ▶ TTCセミナー
[Hコース] 5月24日 ▶ イチからわかる食品素材・添加物	[Iコース] 5月24日 ▶ 免疫セミナー	[Jコース] 5月25日 ▶ おいしさの科学セミナー
[Kコース] 5月24日 ▶ 介護食セミナー	[Lコース] 5月25日 ▶ 時間栄養セミナー	[Mコース] 5月25日 ▶ 第2回糖化ストレス研究会講演会
[Nコース] 5月23日 プライベートセミナー ▶ ガニアシ研究会セミナー		

5月23日 (水)**➡ A：食の安全・科学フォーラム 第11回セミナー (タイムテーブル)** 最終更新日：2012/04/06

日本食品微生物学会、日本食品衛生学会、日本食品化学学会の3学会共催で行われる本フォーラムは、今年は「今注目すべき食品の規格と検査」と題して行われます。第1部は現在日本の最大の課題とも言える放射性物質の検査、未審査品が昨年末問題となった遺伝子組換え食品添加物と輸入解禁となったばかりの遺伝子組換えパパイヤ。第2部は生肉規格の腸内細菌科菌群と策定が決まったリステリア規格について、トピックスとして多発する腸管出血性大腸菌O157およびNonO157食中毒と注目の話題満載です。

➡ B：口腔ケアセミナー 歯科発！街の健康ステーション (タイムテーブル) 最終更新日：2012/04/06

今、地域の歯科医院を「街の健康ステーション」に変えていこうという取組みが始まっています。患者の健康状態を把握し、口腔ケアだけでなく栄養指導も行い、適切なトクホや健康食品を紹介しようというもの。また、「口腔保健用機能性食品研究会」も昨夏、設立されました。今回のセミナーでは、口腔ケアの重要性について最新知識を提示していただくと共に、この歯科発の新機軸についてもご紹介いただき、企業も巻き込んだ大きな変革につなげていきたいと考えています。

➡ C：スポーツニュートリションセミナー (タイムテーブル) 最終更新日：2012/04/26

国内のスポーツニュートリションの普及・発展が望まれる中、アスリートのトレーニングから一般の健康づくりまで、幅広く現場に関わってきた専門家に現状と課題を概説していただきます。スポーツ栄養は決してアスリートのためだけのものではなく、ランニングやフィットネスなどさまざまな形でその野が広がっている健康志向の人たちにこそ必要であり、今後の商品開発にも未来があると言えます。現場で何が求められ、課題はどこにあるのか？サプリメントの望ましいあり方なども含め、議論を深めることをこのセミナーで目指します。

上記の立教大学・杉浦克己先生のセミナーでは、日本トレーニング指導者協会 (JATI) 認定資格保有者に対して、継続単位 (0.5) が付与されます。

➡ E：JSoFFミニシンポ (タイムテーブル) 最終更新日：2012/04/06

JSoFFミニシンポは毎年恒例の行事。JSoFFは「日本フードファクター学会」(理事長：寺尾純二徳島大学教授)の略で、1995年に浜松市で開催された国際フードファクター学会がキッカケとなり、“機能性食品因子”(ファンクショナルフードファクター)の研究を極める学会として、当時の大澤俊彦名古屋大学教授(現・愛知学院大学教授)を中心に設立し、今年で17年目を迎えます。今年のミニシンポでも機能性食品因子を極める講演を聴くことができます。

[↑ ページトップ](#)**5月24日 (木)****➡ F：国際シンポジウム (タイムテーブル)** 最終更新日：2012/04/06

これからの成長市場として世界中の注目が集まるアセアンでは今、食品、食品添加物の統一規格作成の動きが進んでいる。日本にとって特に関心の高いインドネシア、タイ、シンガポールから食品規格作成の専門家を講師に招き最新の情報に基づいた意見交換を行う。

➡ G：TTCセミナー (タイムテーブル) 最終更新日：2012/04/12

今回のTTCセミナーは、「食品の新しい機能性評価の夜明け」と題し、ミニシンポジウムを3つのテーマで実施します。テーマは「変形性膝関節症」「ストレス・疲労」「美肌」。それぞれテーマごとに主要企業の3社がプレゼンし、その分野の第一線級の大学教授が座長を務めます。さらにテーマごとのパネルディスカッションも行い、食品の機能性評価の研究がここまで進んでいることを検証します。会場からの発言も促し、座長・演者および聴講者を巻き込んだ興味深いセミナーになるでしょう。

➡ H：イチからわかる食品素材・添加物 (タイムテーブル) 最終更新日：2012/04/26

現代の食品開発において、食品に物性や食感、風味、外観向上などに寄与する食品素材や添加物はなくてはならないものです。「イチからわかる食品素材・添加物」セミナーは、食品の製造・開発に携わる方を対象に、基本となる技術や踏まえておくべき知識を学ぶことができる場として、様々な技術関連トピックスをご紹介します。

I: 免疫セミナー (タイムテーブル) 最終更新日: 2012/04/26

最近では、免疫分野の解明研究が内外で大きく進んでおり、食品と免疫との関わりも研究の幅が広がってきました。さらに乳酸菌を中心とした様々な免疫機能性素材において、“食品の免疫”をめぐる解明研究がエビデンスも構築されつつあります。今回の免疫セミナーは、日本食品免疫学会の上野川修一会長を中心に企画し、展示会場の「免疫ゾーン」とも連動し、食品成分と免疫の関係が解き明かされる興味深いセミナーになるでしょう。

[↑ ページトップ](#)

5月25日 (金)

J: おいしさの科学セミナー (タイムテーブル) 最終更新日: 2012/04/26

今回のテーマは「製品力を創る感性ブランディング手法」。ヒット商品やロングラン商品には、消費者の感性に訴えかける要素や付加価値があります。本セミナーでは、日本の伝統食品やロングヒット商品の成功に学ぶほか、これからの食品開発に有用な付加価値のヒントを紹介します。

K: 介護食セミナー (タイムテーブル) 最終更新日: 2012/04/06

超高齢化社会を背景に、介護食品、高齢者向け食品の需要は年々拡大しています。抗口コモやサルコペニア、PEM(低栄養)など加齢とともに罹りやすい症状や疾患の予防・改善に役立つ商品へのニーズが高まっていますが、その一方で、家庭では栄養情報が乏しく、不安を抱えていることが多いのが実情です。セミナーでは、高齢者が抱える「食」の問題を捉え、実際に利用しやすい介護食品の開発と応用を目指します。

L: 時間栄養セミナー (タイムテーブル) 最終更新日: 2012/04/06

時計遺伝子の異常が生活習慣病を招くことが分子レベルで分かってきました。体内時計の異常は、肥満や糖尿病のリスクファクターとなり、またエネルギー代謝の中核を担う分子のSIRT-1、PGC-1 α 、PPARsなどが時計遺伝子の制御化にあるという報告から、近年時間栄養学の重要性がさらに増している。本セミナーは、時計遺伝子が何かを理解し、体内時計とアレルギーの関係、食・栄養との関連についても知識を得られる構成となっている。

M: 第2回糖化ストレス研究会 講演会 (タイムテーブル) 最終更新日: 2012/04/06

新たなアンチエイジングとして注目を集める「糖化」「抗糖化」に関する基礎・臨床の研究を発表。糖化物質の一つであるAGEs (advanced glycation end products: 最終糖化生成物) だけでなく、中間体や糖化反応物質の生成・排泄経路、受容体の研究、測定法の確立、創薬などについて総合的に検討し、糖化ストレスを軽減する素材や生活スタイルを提案する。

[↑ ページトップ](#)

プライベートセミナー

5月23日 N: ガニアシ研究会セミナー (タイムテーブル) 最終更新日: 2012/04/05[↑ ページトップ](#)

無料セミナー

イベントスペース プログラム

最終更新日: 2012/04/26

食の安心科学ゾーンセッション プログラム

最終更新日: 2012/04/26

味の提案ゾーン プログラム

最終更新日: 2012/04/26

HFE JAPANセッション会場 プログラム


最終更新日: 2012/04/17

カロテノイドフォーラム プログラム※ 事前申込みは[こちら](#)から 最終更新日: 2012/04/06[↑ ページトップ](#)

出展社プレゼンテーション <事前申込不要>

▣ 出展社プレゼンテーション

最終更新日 : 2012/04/12

 ページトップ